子どものための BOOK GUIDE

I am a Bunny

著者：Ole Risom
イラスト：Richard Scarry
出版社：Golden Books

前回ご紹介した絵本は初版の出版が1982年でしたが，今回は1963年。なんと第1回東京オリンピックの前の年。超ロングセラーです。絵を描いたリチャード・スカーリーは幼年向けの絵本作家ですが，いまでもたくさんの絵本が読まれていて，日本語に訳されたものも少なくありません。

この絵本，絵も色も見るからに古い感じがしますが，それがまたいい雰囲気を出しています。タイトルも実にシンプル。*I am a Bunny*。冒頭の文章もシンプル。

I am a bunny.
My name is Nicholas.
I live in a hollow tree.

説明不要の3行ですが，"hollow tree"は，絵を見てのとおり，「うろのある木」です。なんで「うろ」なんてものが木にできるのかは百科事典で調べて，子どもたちに教えてあげてください。林や森に行くと案外たくさんみつかります。

さて，この絵本は，ウサちゃんの過ごす四季をつづったもので，次の見開きは"In the spring, I like to pick flowers."その次が"I chase the butterflies, and the butterflies chase me."こんな調子で，夏，秋，と続き，最後は冬になって，雪が降り，"Then I curl up in my hollow tree and dream about spring."

文章はすべて現在形。その意味でもいい教材になるでしょう。絵を見せながら読み終えたら，子どもたちにきいてみましょう。「この子は男の子かな，女の子かな」。ウサちゃんが遊ぶ姿がとてもかわいいので，「女の子！」と答える子が多そうですが，最初に"My name is Nicholas."とあります。日本の子どもにはこれが男性名か女性名かわからないかもしれませんが，Nicholasは男性名。ちなみに，Saint Nicholas（聖ニコラウス）司教は，Santa Claus（サンタ・クロース）のモデルになっているといわれています。諸説あるのですが，そんな話もしてあげると，さらに親しみがわくのではないでしょうか。

金原瑞人
かねはら・みずひと

岡山県生まれ。翻訳家，法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後，同大学院修了。訳書は児童書，一般書，ノンフィクションなど550点以上。日本にヤングアダルト（YA）というジャンルを紹介。中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』（光村図書）の編集委員を務める。